【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2009-49580(P2009-49580A)
【公開日】平成21年3月5日(2009.3.5)
【年通号数】公開・登録公報2009-009
【出願番号】特願2007-211994(P2007-211994)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　16/02　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　28/00　(2009.01)
Ｈ０４Ｍ　11/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｊ　 1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　 7/26　１０５Ｄ
Ｈ０４Ｂ　 7/26　１０９Ｍ
Ｈ０４Ｍ　11/00　３０２
Ｈ０４Ｊ　 1/00

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月22日(2010.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６５】
また、無線基地局ｅＮＢが、移動局ＵＥに対してＵＬ-ＳＣＨ（上り無線リソース）を割り当てた場合で、かつ、割り当てられたＵＬ-ＳＣＨを通知するための無線基地局ｅＮＢから送信されたＬ１/Ｌ２　ｃｏｎｔｒｏｌ　ｃｈａｎｎｅｌ（ＵＬ　ｇｒａｎｔ）（上り無線リソース割当信号）が、当該移動局ＵＥの送信バッファに滞留されているデータ量の報告を要求している場合、当該移動局ＵＥは、割り当てられたＵＬ-ＳＣＨを用いて、当該無線基地局ｅＮＢに対して、当該移動局ＵＥの送信バッファに滞留されているデータ量を報告するように構成されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７３】
「Ｂｕｆｆｅｒ　Ｓｔａｔｕｓ　Ｒｅｐｏｒｔ」の送信が完了した後、移動局ＵＥは、ステップＳ２０４及びＳ２０１において、次のサブフレームにおいて、再び、ＵＬ-ＳＣＨが割り当てられているかについて確認する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７４】
一方、かかる「ＢＳＲ送信要求要否ビット」の値が「Ｂｕｆｆｅｒ　Ｓｔａｔｕｓ　Ｒ

ｅｐｏｒｔ送信否」である場合、ステップＳ２０５において、他の「Ｂｕｆｆｅｒ Ｓｔａｔｕｓ Ｒｅｐｏｒｔ」の送信契機を迎えていなければ、移動局ＵＥは、ステップＳ２０６において、割り当てられたＵＬ-ＳＣＨを用いて、上りユーザデータのみを送信し、ステップＳ２０４及びＳ２０１において、次のサブフレームにおいて、再び、ＵＬ-ＳＣＨが割り当てられているかについて確認する。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７５】
また、かかる「ＢＳＲ送信要求要否ビット」の値が「Ｂｕｆｆｅｒ Ｓｔａｔｕｓ Ｒｅｐｏｒｔ送信否」である場合でも、ステップＳ２０５において、他の「Ｂｕｆｆｅｒ Ｓｔａｔｕｓ Ｒｅｐｏｒｔ」の送信契機によって、「Ｂｕｆｆｅｒ Ｓｔａｔｕｓ Ｒｅｐｏｒｔ」を送信する必要がある場合には、移動局ＵＥは、ステップＳ２０３において、割り当てられたＵＬ-ＳＣＨを用いて、「Ｂｕｆｆｅｒ Ｓｔａｔｕｓ Ｒｅｐｏｒｔ」を、上りユーザデータと共に、無線基地局ｅＮＢに向けて送信し、ステップＳ２０４及びＳ２０１において、次のサブフレームにおいて、再び、ＵＬ-ＳＣＨが割り当てられているかについて確認する。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７７】
本実施形態に係る移動通信システムでは、無線基地局ｅＮＢが、割り当てられたＵＬ-ＳＣＨ（上り無線リソース）を移動局ＵＥに通知するために用いる上り無線リソース割当信号（Ｌ１/Ｌ２ ｃｏｎｔｒｏｌ ｃｈａｎｎｅｌ（ＵＬ ｇｒａｎｔ））に「ＢＳＲ送信要求要否ビット」を含め、かかる「ＢＳＲ送信要求要否ビット」が「Ｂｕｆｆｅｒ Ｓｔａｔｕｓ Ｒｅｐｏｒｔ」の送信を要求することを示す場合に、「Ｂｕｆｆｅｒ Ｓｔａｔｕｓ Ｒｅｐｏｒｔ」を、かかる「Ｂｕｆｆｅｒ Ｓｔａｔｕｓ Ｒｅｐｏｒｔ」の送信を要求している上り無線リソース割当信号（Ｌ１/Ｌ２ ｃｏｎｔｒｏｌ ｃｈａｎｎｅｌ（ＵＬ ｇｒａｎｔ））によって割り当てられたＵＬ-ＳＣＨを用いて送信するように構成されている。